

宇部の石炭とセメント

1 | セメントってなんだろう！

私たちの身の回りには、たくさんのコンクリートが使われています。道路の舗装や橋、電柱、ビルなどに利用され、日々の生活を支えています。

ではコンクリートは何でできているか知っていますか？

答えは、水・砂・砂利、そしてセメントです。

セメントは砂と砂利を結合させる結合材の役割を果たしています。

セメントの主原料は、石灰石や粘土、ケイ石、鉄などです。これらを含め、様々な添加物を加え混ぜることで、固まる速さや耐久性、水密性などが異なるセメントを作ることができ、様々な場面で活用されています。一般的には、コンクリートに使用されるものをセメントと呼びますが、セメント彫刻のように、コンクリートに限定されたものではありません。

2024(令和6)年度の国内での生産量は、45,874千t(水であれば10m×10m×10mの巨大な立方体1つで千トンです。その45,874倍です)。明治期から現在に至るまで、セメント産業はなくてはならない産業となっています。

コンクリートの材料

一般に「セメント」とは「ポルトランドセメント」を意味していることが多い。



ときわ公園内の舗装



高耐久のコンクリートが使われている角島大橋

